

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	SUCチャレンジ		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日		～ R8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	R8年 2月 1日		～ R8年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児発・放デイの合同療育なので幅広い年齢の方同士の関わりがある。	児発と放デイでペア組みをしてお互いに手伝いあう事で思いやりの心を育みます。また異年齢の方に対しての関わり方も学ぶことができます。	過度な負担がかからないようにサポートを行う。 また異年齢で取り組むカリキュラムの目的を明確にし、充実させることでお互いが学ぶ機会を増やしていきます。
2	利用者様・保護者様・従業員が誰にでも相談しやすい環境である。	何かあった場合や何か変化を感じた場合、迅速に確認・対応する事を心がけています。送迎も送迎だけで終わらないよう利用者様との会話や保護者様との会話の機会を大切にしています。	保護者会を企画・実施する事で、事業所内だけでなく保護者同士の関係性も強くなればと考えています。また事業所として保護者様に役立てていただけるような情報発信していけるように職員にとっての学びの研修も積極的に計画します。
3	事業所の日々の状況発信。	インスタ・ホームページのブログで日々の状況発信の継続。連絡帳では利用者様の写真を掲載し、保護者様にその日の様子を理解していただきやすいように工夫しています。	毎日の発信になるので写真や文等、マンネリ化しないように変化をつけて伝わりやすい発信をしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所外(地域や他事業所・各種施設等)の繋がりがあまりない事。また保護者会の場も企画できていない事。	日々の業務において時間に追われることも少なくなく、地域や他事業所・各種施設、また保護者様同士の交流に対する意識が弱かった。	様々な方と出会う機会も増えてきているので、この繋がりを強くしていく為にも連携を意識し密に連絡を取り合える関係を築く。また地域の情報収集や保護者様アンケートでニーズを理解し年間計画として交流を実施していく。
2	常勤・非常勤で研修内容の共有や日々の情報共有について、また各種マニュアルについての認識の差がある。	非常勤職員は出勤後すぐに利用者対応をする事も多く、全体での情報共有が不十分になりやすい。 全職員が集まって個々の利用者様の支援方針を話す時間が不十分である。	研修・情報の共有をするための仕組みはあるが、共通認識を持つにはやはり全員参加での会議等が望ましい。サービス提供時間前後の情報共有だけでなく月に最低1回は全職員参加でミーティングできるような場を作り、個々人の認識の差を小さくしていく。それが支援の向上にも繋がる。
3	全利用者様に対しての避難訓練実施の不足。	月1度は防災学習を実施しているが、毎月土曜日に固定されている日が圧倒的に多いため参加できていない利用者様も多くなっているのが現状である。	あらためて何の為の防災学習かを考えた支援計画を立てる。土曜日に固定するのではなく、多くの利用者様に防災学習に参加してもらえるよう意識する。